収　入

印　紙

保証契約書

　債権者○○○○（以下「甲」という。）と保証人○（以下「乙」という。）とは、甲の債務者〇〇〇〇以下「丙」という。）に対する債権について、次のとおり保証契約を締結する。

　（保証）

**第１条**　乙は、甲に対し、丙が甲に対して負担する下記債務（以下「本件債務」という。）を保証する。

記

　　　　契 約 年 月 日

　　　　元　 金　 額

　　　　返 済 期 日

　　　　利　　　　　息

　　　　利息の支払方法

　　　　遅延損害金利率

　（催告の抗弁）

**第２条**　甲は、あらかじめ丙に対し催告し請求した後でなければ、乙に対し本件債務の支払を請求することはできない。ただし、丙が所在不明となったとき又は破産手続開始の決定を受けたときはこの限りではない。

　（検索の抗弁の放棄）

**第３条**　乙は、丙に弁済の資力があり、かつ、丙に対する強制執行が容易であることを証明しても、甲からの執行を拒むことはできない。

　（協議）

**第４条**　本契約に定めのない事項または本契約の規定に関して生じた疑義については甲乙協議のうえ解決する。

　（合意管轄）

**第５条**　本契約に関する紛争は、○○地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

　甲、乙と丙は以上のとおり合意し、その成立の証として、本契約書2通を作成し、各自、署名又は記名捺印の上、各１通宛所持するものとする。

　令和〇年○月○日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　甲

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所　×　×　×　×

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　〇　〇　〇　〇　㊞

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　乙

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所　×　×　×　×

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　〇　〇　〇　〇　㊞

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　丙

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所　×　×　×　×

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　〇　〇　〇　〇　㊞